

SCSKニアシオアシシステムズ

長崎に来年7月進出

ソフトウェア開発、100人雇用

情報処理サービス業のSCSK（東京）は10日、同社の子会社でソフトウェア開発業のSCSKニアシオアシシステムズ（同）の長崎開発センター（仮称）を長崎市内に新設すると発表した。来年7月から業務を開始し、開設後3年間で100人を雇用する計画。

SCSKニアシオアシシステムズは2001年設立。

21年3月期の売上高は49億4千万円。9県10拠点での業務体制人員は約840人。熊本、宮崎、鹿児島各県に開発拠点があり、大分県にも来年4月、新設する。

長崎開発センターの設置場所は未定。SCSKから受託した企業の基幹、業務システムの開発、保守などを担当する。県、県産業振興財団、長崎市が誘致した。

来月下旬、立地協定締結式を開く予定。県内への県外企業の立地決定は本年度5件目（拡充を含む）。

SCSKニアシオアシシステムズは本県進出の理由について「九州で稼働している宮崎、鹿児島、熊本の各拠点と近く、連携して業務を拡大したい。長崎の地場IT企業との協力関係も見込める」と説明した。

（高比良由紀）

松浦（西日本魚市）

- ◇総入荷量 2トﾝ
もちあい
- ◇近海もの（箱）
定置マアジ(120入)
16000
- 定置ローソクマサバ
1111
- 定置赤カマス(大-130
入) 7000-5000
- 定置シイラ(中身・小)
40
クワ 岡

福